

冬の北海道で、万が一、電力不足となり停電が起こると、暖房が使えず寒さで健康を害するなど、生活がままならなくなります。そうした事態を避けるため、政府と北海道電力は2010年度と比べて7%以上の節電を、全道に要請しています。

冬の家庭の電力需要は、暖房の使用などにより、夏と比べて約6割増えます。そのため冬は、家庭で節電に取り組むことが一層大切になります。

この冬の節電目標

2010年度と比べて7%以上の節電が必要

【なぜ7%の節電が必要?】

発電施設にトラブルが起こったとしても、安定した電力を供給できる水準を538万kWと試算。寒さの厳しかった一昨年の最大需要電力と比べて7%の節電ができれば、十分に電力が賄えるためです。

トラブルが発生した場合の供給電力(予測)

538万kW

2010年最大電力需要

579万kW

不足分
約7%

【節電が必要な期間は?】

以下の期間の平日に、特に節電が必要です。

12/3(月)~7(金)	8時~21時	
12/10(月)~28(金)	8時~16時	16時~21時
1/7(月)~3/1(金)	8時~21時	
3/4(月)~8(金)	8時~16時	16時~21時
3/11(月)~29(金)	8時~21時	

■ 数値目標なし ■ 7%以上の節電



節電の冬を暖かく過ごそう!

夏に引き続き、この冬も節電が求められています。

このページでは、この冬の節電目標と、エネルギーを節約しながら冬を暖かく過ごすための新しい取り組みを紹介します。

このページに関するお問い合わせは、環境計画課 ☎211-2877

節電します。

「さっぽろの未来を明るくするために」

「さっぽろの未来を“明るく”するためにプロジェクト」展開中!

エネルギーの在り方を今一度考えるため、市が今夏に立ち上げたプロジェクトです。この冬もこれに基づき、市民の皆さんと力を合わせて一層の節電に取り組んでいきます。



計画停電はありません

今冬は全道を挙げての節電の取り組みや、停電回避対策の強化などにより、必要な電力を賄うことができる見込みです。そのため、計画停電の心配はありません。

市も引き続き節電に取り組んでいきます

夏に行った取り組みに加え、冬ならではの新たな取り組みを実施し、一昨年の需要電力の総量である228,438kWと比べて7.3%以上の節電を目指します。皆さんの生活や安全性に十分配慮しながら、節電を進めていきます。

市の取り組み	削減電力	削減率※
清掃工場の売電増、操業調整など	3,568kW	1.6%
下水道・水道施設のポンプの運転シフトなど	2,180kW	1.0%
地下鉄や路面電車の車両照明間引きなど	2,251kW	1.0%
ロードヒーティングの一部運転停止	2,712kW	1.2%
庁舎、市有施設、学校の照明間引きなど	5,905kW	2.6%
	16,616kW	7.3%

※各取り組みごとに四捨五入しているため、合計が一致しません